

市民がつくる環境都市こまき



こまき環境広報

編集:こまき環境市民会議



2020年7月1日から レジ袋が有料になりました

プラスチックは、成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、資源・廃棄物制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題もあります。

このような背景から、令和2年7月1日より、全国でプラスチック製買物袋の有料化が始まりました。普段何気なくもらっているレジ袋を有料化することで、それが本当に必要かを考えて頂き、私たちのライフスタイルを見直すきっかけとすることを目的としています。

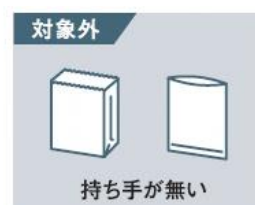
こんな買物袋が有料化の対象になります！



① 素材



② 持ち手があるか



③ 商品を入れるか



④ 辞退できるか



※環境性能が認められた買物袋は、有料化の対象外となります。



有料化の対象となる買物袋は、「消費者が購入した商品を持ち運ぶために用いる、持ち手のついたプラスチック製の買物袋」です。スーパーやコンビニだけでなく、百貨店や本屋、調剤薬局等でもらっていたプラスチック製の買物袋も有料化の対象となります。詳しくは、経済産業省のホームページをご覧ください！



経済産業省HP

大きな問題となっている海洋プラスチックごみ



レジ袋を含めたプラスチックは、作る時も廃棄するときも、多くの二酸化炭素を排出します。また、大きな問題となっているのが、海洋プラスチックごみです。

毎年、世界全体で800万トンのプラスチックごみが海に流れていると言われており、このままだと2050年には海洋中のプラスチックごみの重さが、魚の重さを上回ると予測されています。さらに、紫外線や波で劣化し細片化したマイクロプラスチックは、小ささゆえに回収が難しく、自然に分解されないことがないので、半永久的にたまり続ける可能性があり、海の環境に大きな被害を与えています。

美しい地球を残すためにできることから始めよう！

こまき環境市民会議では、20数年前からレジ袋削減を市内の店舗や市民に訴え続け、「マイバッグ持参運動」を推進してきました。現在は、イベントや市内の一部小学校においてマイバッグの作製指導をしています。他にも子どもたちに資源循環型社会の形成を学んでもらうための環境学習を実施しています。



小牧小学校でのマイバッグ作り

「本気で環境を良くしたい！」と思う気持ちが湧き上がってこなければ、美しい地球を子ども達に残すこともつないでいくこともできません。私たちの豊かな消費生活は、地球の資源を消費することで成り立っていますが、「今の環境が将来どうなるのか」と多くの人が漠然とした不安を持っているのではないのでしょうか？

地球を守るために、自治体や企業、そして私たち一人ひとりがそれぞれの立場で、できることがあるはず。日頃から環境問題への意識を高めて、一人ひとりが生活様式を見直し、環境にも人にもやさしい暮らしをしていくために、まずは身近なレジ袋削減から取り組み、エコ生活を始める第一歩を踏み出しましょう！

こまき環境市民会議のメンバーになって、環境について一緒に活動しませんか？

興味がある方や一緒に活動したい方のご連絡をお待ちしております！

ホームページ：<http://komakikankiyoushimikaigi.jp/>

又は「こまき環境市民会議」で検索してください

事務局：小牧市役所環境対策課（0568-76-1181）

会員のつぶやき

友人から「いつも使用しているマイバッグを手洗いしたところ、とても汚れていてびっくりした」という話を聞きました。新型コロナウイルスの感染防止の観点からも、マイバッグは常に清潔に保つよう心掛けましょう。また、洗い替えのためにマイバッグを複数枚持っておくと良いと思います。

プラスチックごみ削減のため、マイバッグをはじめ、マイボトル・マイ容器の利用など、私たち一人ひとりにできることを考え、小さなことからでいいので始めてみましょう。